**KDPOF 車載光ギガビット イーサネットが準拠,**

**日本の自動車産業法人が承認**

*KD1053 1000BASE-RHC 車載イーサネット PHY*

*JASPAR の適合性試験に合格*

*東京、2019 年 2月12日*– 一般社団法人JASPAR（Japan Automotive Software Platform and Architecture）は、KDPOF の車載光ギガビット イーサネット技術が適合性試験に合格したと発表しました。　KDPOFはKD1053 により、 IEEE® Std 802.3bvに準拠したプラスチック オプティカル ファイバー（POF）による転送速度1Gb/sを実現し、車載向けに1000BASE-RHC PHYを提供します。

JASPAR次世代高速LAN WGは、次のようにコメントしています。『KDPOF の光ネットワーク ソリューションは、車載ネットワークの速度を大幅に改善するうえ、低速なネットワーク プロトコルに代えうるものです。

信号の高速化には、広い電磁スペクトラムを使用するため、自動車メーカーは電子部品に対してますます厳しい電磁放射制限を求めることになります。

光イーサネット技術は、電磁放射がないワイヤーハーネスであり、電磁環境両立性（EMC）の技術要件を満たすので、将来の車載ネットワーク インフラストラクチャにとって理想的なものです。　』

2004 年に設立されたJASPARのミッションは、カーエレクトロニクス領域で将来直面する共通課題を特定し、その解決のための標準化活動に取り組み、自動車産業全体の公正な競争基盤の創造・開発の生産性向上と技術発展を促進することです。　220以上のメンバー企業には、トヨタ、ホンダ、日産、マツダ、デンソー等の世界的に活躍する自動車メーカーやTier1 サプライヤーが含まれます。

**包括的EMC テスト**

様々なTier1 およびTier2 自動車メーカーが、JASPAR と連携してKDPOF の KD1053開発ボードのテストを実施しました。 幅広い種類のテストには、EMCエミッションおよびイミュニティテストの他、現在のISO 21111-4 CDに準拠した標準車載 POF および光学コネクターの極限温度テストも含まれています。 EMCの試験は、放射および伝導ノイズ試験（電圧、電流）、BCI試験、放射RFイミュニティ、携帯送信機イミュニティが含まれています。さらに、静電気放電（ESD）および過渡パルス電圧に関するテストも実施されました。KD1053 ソリューションは、全てのテスト基準において優れた結果を出しました。

**車載イノベーション ロードマップ**

『今後もJASPAR は、これまでの活動成果の維持・発展に加え、新しい協調領域を手がける会員企業の迅速な意見集約・意思決定を通じて、カーエレクトロニクス技術についての標準化活動を行っていきます。』

とJASPAR次世代高速LAN WGはコメントしています。

ワード数： 979

**画像**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | JASPAR が KDPOF の車載光学ギガビット イーサネット KD1053 の準拠を承認著作権： KDPOFダウンロード： http://www.ahlendorf-news.com/media/news/images/KDPOF-JASPAR-H.jpg |
|  |  |  |

**JASPAR とは**

日本の自動車産業市場に焦点を置き、高度化、複雑化する電子制御システムのソフトウェアや車載ネットワークの標準化および共通利用により、開発を効率化し、信頼性を確保するためにJASPAR は設立されました。自動車メーカー、大学および研究機関、ソフトウェア開発、電装品メーカー、半導体メーカー等、様々な企業のエンジニア スタッフが、JASPAR の活動に参加しています。詳細は、次のリンクにてご覧ください： [www.jaspar.jp/en/about\_us](http://www.jaspar.jp/en/about_us)